

会議の結果

件名	平成28年度第3回社会教育委員会議定例会
日時	平成28年9月21日(水曜日) 午後2時～午後4時30分
場所	中辺路コミュニティセンター 大会議室
出席者	<p>○社会教育委員 久保議長、高垣副議長、谷本委員、中本委員、三宅委員、近藤委員、西川委員、尾崎委員、松場委員、庄司委員、榎本委員、九鬼委員 計12名 (欠席) 加藤委員</p> <p>○職員 (生涯学習課) 杉若課長、北尾生涯学習推進係長、坂本公民館係長、竹邊生涯学習指導員、中田社会人権教育指導員、廣畑中央公民館主事、大倉中央公民館主事、岡本主査 計8名</p>

1. 杉若生涯学習課長あいさつ

中村教育長、弓場教育次長が9月議会のため欠席ですので、私からご挨拶を申し上げます。

今回は、台風16号の接近で開催も危ぶまれました。最近、台風等による水害の被害が目につき、5年前には紀伊半島大水害もあったわけですが、今回は当地では大きな被害もなく、本日開催することができました。

また、本日から30日までは交通安全運動期間でもあります。今日もお車でこられた方が多いと思いますが、十分お気をつけください。

本日も活発なご意見をいただきながら、前に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



2. 久保議長あいさつ

今日は雰囲気を変えまして、中辺路コミュニティセンターで開催となりました。先日、近畿地区社会教育研究大会滋賀大会に行っておりまして。近畿大会に行くたびに同じような想いをしますが、近畿地区でも活動はされているところは多く、いろいろな地域の発表を聞きます。その度に自分たちが考えて、感じたことを会議の場で議論して、下積みをしてから行動に移している自分たちのやり方が、特に、一時の想いだけでなくプロセスを大事にしている部分などは改めて大事だと確認をしました。

本日も協議をしながら、皆さんの意見を集約していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



3. 説明事項

これより久保議長が進行を行う。時間設定等の説明を行った後、説明事項に入る。

- ・(1) 人事異動について、杉若生涯学習課長から説明を行った。
- ・(2) 平成28年9月議会の補正予算について、岡本主査から説明を行った。
- ・(3) 平成28年度教育委員会点検・評価報告書について、杉若生涯学習課長から説明を行った。
- ・(4) 平成28年度生涯学習振興大会について、岡本主査から説明を行った。
- ・(5) 大塔地域共育コミュニティ本部事業成果発表会、及び中芳養地域共育コミュニティ本部事業研究発表会について、坂本公民館係長、竹邊生涯学習指導員から説明を行った。
- ・(6) 平成28年度「成人の日」記念式典について、坂本公民館係長から説明を行った。
- ・(7) 南方熊楠翁生誕150周年記念事業実行委員会の設立について、岡本主査から説明を行った。

4. 報告事項

- ・補足説明なし

【質疑応答】

- ・特になし

5. グループ協議

田辺市社会教育委員会議の今後の取組について、岡本主査から説明を行った後、協議を行った。

(1) 今年度の取組について

- ①これまでの取組の振り返り
- ②今後の取組について（案）

今後の取組については、これまでの取組も踏まえ、各グループから企画委員を選出し、事務局と協働で人材育成講座の内容を検討していくことを提案する。

【協議内容】

[久保議長]

事務局から説明がありましたが、これまで3グループでテーマを持って議論をしてきましたが、明確な着地点を見出すことができていませんでした。最終的に突き詰めて人材育成としてまとめたとすれば、共通のテーマにまとまるのではないかということになりました。人材育成のプログラムの中で、各グループの特色を生かしていけるのではないかと思っています。今後は委員の中から企画委員を選出して議論していくことになると思いますが、人材育成講座や勉強会を今期に実施できればと考えています。ご質問や疑問は無いでしょうか。

特に質問が無いようですので、これまで3つのグループで進めてきた議論を、一つにまとめて進めていきたいと思っています。

(2) これからの方法とスケジュールについて、岡本主査から説明を行った。これからの方法については、企画委員を選出し、その中で検討していくことを提案。

【質疑応答】

[松場委員]

2月から3月に人材育成講座を実施となっていますが、複数回と前には聞いたと思いますが、1回ですか。それぞれのグループで求められる人材像が一緒なのかなという疑問があったので、複数回なのかどうか聞きたい。

[岡本主査]

その部分も企画委員会で検討していきたい。講座の形式も同様に検討していきたい。

[榎本委員]

人材育成講座の対象者はどう考えているのか。

[岡本主査]

対象者は一般市民も対象に考えています。講師、受講生も含めて、どういう人を呼びたいのか、なども今後考えていきたい。

[久保議長]

おおまかな内容ではあるが、今後、企画委員会のなかで、一つずつ詰めていきたい。

【企画委員の選出】

選出については、事務局から各グループのチーフ、これまでの人材育成講座に企画委員、受講生として関わっていただいた方から選出することを提案。次のとおり企画委員が選出された。

○企画委員 久保議長、高垣副議長、西川委員、近藤委員、尾崎委員、松場委員

(3) グループ協議の実施

岡本主査から説明を行った後にグループ協議を実施し、これまでの取組の振り返り、意見交換などを行った。グループ協議終了後、各グループチーフから報告を行った。

【グループ協議の様子】

3 グループに分かれてグループ協議を行った。終了後、各グループチーフから報告を行った。

グループ①



グループ②



グループ③



【グループ協議の内容報告】

グループ② 現代的課題と人づくり <久保議長、尾崎委員、庄司委員、榎本委員>

[久保議長]

主事会では、2年目の公民館主事の発表を聞かせていただき、その後のグループ協議に参加してきました。また、中辺路地域の集落支援員との意見交換も実施し、2度現場の話を聞く機会を持ちました。私たちのグループは当初から計画を立てるにしても、事業をするにしても地域の声を聞くことが基本であるという考え方で活動をしてきました。主事会の中で話し合いや意見交換、悩みの相談など、田辺市の公民館として良い関係を作られており、自分達で課題を解決しようと模索もしていると感じました。

集落支援員は買物の手伝いなど、様々な活動を聞かせていただきました。地域に限定した行動範囲でしたので、他の地域や団体との連携などが今後できればと感じました。

私たちが今後、講座や学習の場をつくるにしても、地域の声を大事にした内容や取組にしていきたい。



グループ③ 地域づくりと人づくり <西川委員、谷本委員、近藤委員、松場委員>

[西川委員]

7/22に色川に行ってきました。現地の原さんの話を聞く中で2つのキーワードがありました。まずは、自治力を自分事にする。本気の人を作ることが大事。もう1つは社会教育はそういう人や、地域の人に刺激を与える機能があるので、頑張してほしいという風にエールをいただきました。

次に、ずっとテーマとして申し上げている人口減少社会の人材増戦略ですが、大きく2つテーマが出ています。1つは人材追撃論です。人材育成講座は述べ269名、実人数として200名の修了生がいますが、この方々が今、何をしているのかのリストを作成しており、8年間続けてきた人材育成講座を受けて、自分自身が変わった点などを聞くことが大事だという課題が1つあります。

2つ目は、自分事の人を増やすこと。そのためにはプロセスや危機に参加することです。危機は先ほども申し上げた人口減少社会であり、我々一人ひとりもその危機に参加しています。自分事の人を増やすためには、小さいポイントがあり、ポイントAとして見通す力。町の将来、人口減少、産業構造などが10年後、20年後どう変わっていくのか、そういった未来を見通す力を養う機会が必要になります。ポイントBとしてはその解決策を考えることです。ただ、解決策としてばかり考えると気も減入ってきますので、楽しく続く方法を考えなければなりません。ここに出たキーワードは、小遣い稼ぎができる町でした。その中には、課題解決の要素が多分にあると思います。ボランティアも大事ですが、みんなで事業としてやることも必要で、直売所に野菜を置きに行くことも立派な福祉行為であり、回りまわって経済や生きがい、医療費の削減などに結びついていきます。そういう視点も必要だと言うことが論点として出てきました。



グループ① 青少年、子育てと人づくり<高垣副議長、中本委員、三宅委員、九鬼委員>

[高垣副議長]

龍神のお母さん方が、自分達で夏休み中の子ども達を見守ろうというグループを立ち上げ、昨年度から始めて、今年度も夏休み中に実施したということで、その活動を聞いてきました。今年は他の人の協力や補助事業なども入り、少しは楽になったみたいですが、交替で何日かお仕事を休んで、子どもの面倒を見るという活動を聞かせてもらい、お母さん方の行動力と、スタートするまでに申し合わせや誓約書、保険の準備などの準備をきちんとされており、すごいと感じました。最初は学童保育がほしいということであったが、物理的に無理であったために、無理であれば自分たちでできることは何かを考えて始め、行政も黙ってみているわけにはいかないということで、事業を組み込んだり、補助金の紹介をしたりしたということでした。そういった行動するお母さん方は見習わないといけないと感じまして、子育ての終わった年代の私たちも反省しました。子育て世代の方々が子供と関わるのが楽しいという思いを味わえば、忙しい中でも関わってほしいという思いになると感じ、そういう保護者になってもらうために何ができるかと考えていくことが必要です。前からも議論していますが、周りから見て、難しいなと思う家庭の保護者は中々そういった場には出てきてくれない。直接接するのが難しいのであれば、周りでアンテナの鋭い人を育てなければならない。そういう人達を町中でいっぱい育てていくことが必要だと感じました。



6. その他

- ・近藤委員から美術館運営協議会への意見、要望について、各委員に質問を行った。
- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

7. 閉会

高垣副議長から閉会の挨拶を行った。

私からも情報提供です。11月18日から20日まで、ララロカレと田辺機関区の旧建物でえいぶるアート展として障がい者の皆さんのアート展が開催されます。是非、ご覧いただけたらと思います。今日はお疲れ様でした。